

# 電子くじについて

## 1. くじの目的

入札の結果、落札者となるべき同価格の入札をした者が2人以上あった場合、くじ引きによる抽選を行います。

## 2. くじの機能要件

- (1) くじ引き参加者が直接くじ引きに参加できること。
- (2) くじ引き参加者の意思又は動作をくじの結果に反映させること。
- (3) くじ引きの結果がすぐに表示されること。

## 3. くじ引きの実施方法

- (1) 入札者は、入札書提出と同時にくじ番号（任意の3桁の数値）を入力します。  
電子入札者は、システムの入札書提出画面でくじ番号を入力します。  
紙入札者は、入札書にくじ番号を記載します。
- (2) 入札書が到着した時刻を登録しておきます。  
電子入札者の到着時刻は、サーバ登録時刻とする。  
紙入札者の到着時刻は、企業名称の五十音順（昇順）に開札の日時から1分づつ繰り下げた時刻として取り扱います。
- (3) くじ番号と入札書到着時刻より、くじ引きを実施します。

## 4. くじ引きのアルゴリズム（処理手順）

- (1) 同価格入札者に入札書到着時刻の早い順に、0から番号を付番します。
- (2) 同価格入札者のくじ番号をすべて加算します。
- (3) (2)で算出された数字を同価格入札者の数で除し、**余りの数値**と(1)で付番した数値が一致する者を落札者とします。

<例1> 同価格入札者が2者の場合

	くじ番号	入札時刻	順番
A社	363	2004/12/1 16:42:38	0
B社	187	2004/12/2 13:38:21	1

$$363 + 187 = 550 \quad 550 \div 2 = 275 \dots 0 \quad \text{落札者} \quad \text{A社}$$

<例2> 同価格入札者が3者の場合

	くじ番号	入札時刻	順番
A社	130	2004/12/1 16:42:38	0
B社	438	2004/12/2 12:00:00	1
C社	295	2004/12/2 13:38:21	2

$$130 + 438 + 295 = 863 \quad 863 \div 3 = 287 \dots 2 \quad \text{落札者} \quad \text{C社}$$